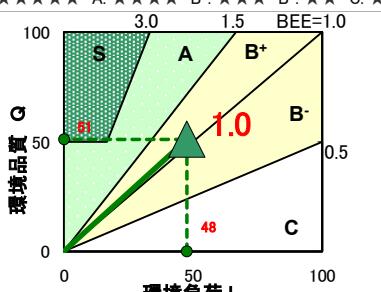
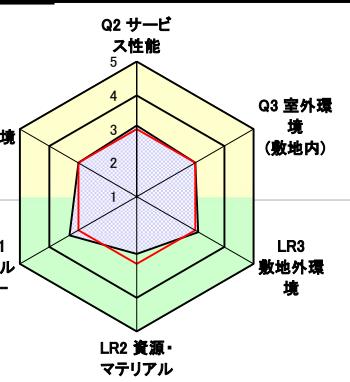
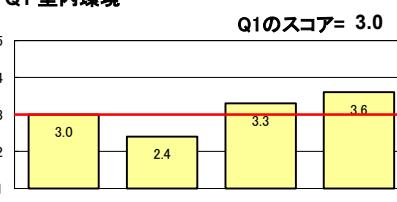
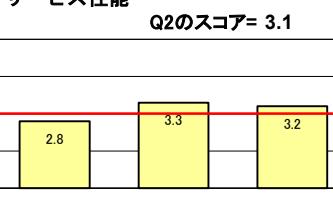
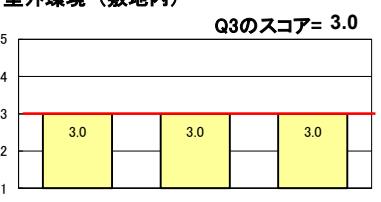
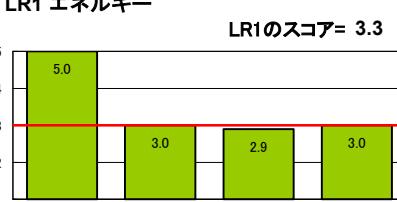
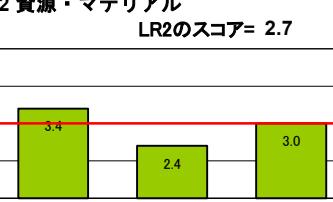
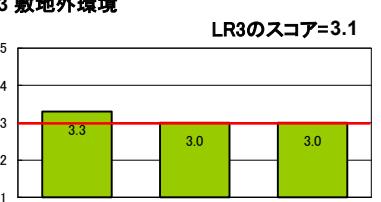


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	セコムラグビーフィールド再整備計画	階数	地上4F	
建設地	埼玉県狭山市柏原字森ノ上237番41	構造	RC造	
用途地域	工業専用地域、法第22条区域	平均居住人員	150 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	100 時間/年(想定値)	
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2025年7月15日	
敷地面積	19,844 m ²	作成者		
建築面積	1,843 m ²	確認日	2025年10月3日	
延床面積	4,185 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 </p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★</p>  <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 91% ③上記+②以外の 91% ④上記+ 91% (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	 <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p>	 <p>Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q1 室内環境 LR1 エネルギー⁺ LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 3.0	
Q 環境品質		
Q1 室内環境	Q1のスコア = 3.0	Q2 サービス性能
		
		Q2のスコア = 3.1
Q3 室外環境 (敷地内)		Q3のスコア = 3.0
		
LR 環境負荷低減性		LR のスコア = 3.0
LR1 エネルギー	LR1のスコア = 3.3	LR2 資源・マテリアル
		
		LR2のスコア = 2.7
LR3 敷地外環境		LR3のスコア = 3.1
		
3 設計上の配慮事項		
総合		
地域に根差した、選手とファン(観客)の関係が近いスタジアム計画		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
1階通路、2階観客メイン通路ともに半外部空間とし、通路に面した各室に自然換気を取り込みやすい計画	不特定多数が利用する観覧施設のため、耐久性の高い材料を選定 階高を高く確保するとともに、天井を設置しないことで、不特定多数の一斉利用でも開放性を感じさせる通路空間を	敷地の大半を占めるフィールドの天然芝に対し、十分な通風を見込める配置計画をシミュレーションで確認 周辺環境から突出しない建物高さで計画することで、景観性にも配慮
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
全熱交換機やLED照明、人感センサー等の採用	擬音装置付き衛生器具の採用により、節水に配慮	競技用照明は敷地外に光害を生じないように、照度分布図を作成し確認 観覧施設の特徴として、一定時間に不特定多数の観客来場が想定されるため、自家用車での敷地内来場は禁止とし、シャトルバス等の運用を計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
セコムラグビーフィールド再整備計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目	実施設計段階	評価点	重み係数					
Q 建築物の環境品質								
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.15	-	-	3.0
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	-	3.0
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.40	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音				3.0	-	3.0	-	
2.4 吸音				3.0	0.20	3.0	-	
2 溫熱環境				2.4	0.35	-	-	2.4
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式				1.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境				3.3	0.25	-	-	3.3
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-	
1 昼光率				3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口				3.0	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	
3.2 ゲレア対策				4.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		プラインド及び庇または屋根による昼光制御		3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境				3.6	0.25	-	-	3.6
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		使用建材はF☆☆☆☆以上または規制対象外建材で計画		4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				3.3	0.30	-	-	
1 換気量		一人当たり30[m ³ /h]で換気量を計算		4.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能				3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		建物内は禁煙の計画		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				2.8	0.40	-	-	2.8
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				3.0	0.33	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応				1.0	0.33	3.0	-	
3 パリアフリー計画				3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				3.0	0.33	3.0	-	
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33	-	-	
3 内装計画				3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		不特定多数の観客利用に配慮し、耐久性の高い仕上げ材を選定		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		耐震性能1.25で計画		4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.1	0.30	-	-	
1 転体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				1.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性	3.2	0.30	-	-	3.2
	3.8	0.30	-	-	
	5.0	0.60	3.0	-	
	2.0	0.40	3.0	-	
	3.0	0.30	3.0	-	
	3.0	0.40	-	-	
	3.0	0.20	-	-	
平均階高3.9m以上		3.0	0.20	-	
3.1 空間のゆとり		3.0	0.10	-	
1 階高のゆとり		3.0	0.10	-	
2 空間の形状・自由さ		3.0	0.20	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.20	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.20	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.40	-	3.0
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	3.0
LR1 エネルギー		-	0.40	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化		2.9	0.50	-	2.9
4 効率的運用		3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	1.00	-	
集合住宅の評価		-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	2.7
1 水資源保護		3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	
1 消火剤		-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		3.3	0.33	-	3.3
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	-	3.0
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	
2.2 溫熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制		4.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	
シャトルバスの運用を計画		-	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	
2 振動		-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	セコムラグビーフィールド再整備計BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	---------------------	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	3.3	+	3.0	=	6.3		
重点項目の各スコアの合計点							
がんばろう 6.0未満		良い 6.0以上		非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均 3.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>		
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア 3.3
一般的な建物と同等以下となるように計画		
(2) 緑の保全・創出		スコア平均 3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>		
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア 3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア 3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア 3.0
敷地の広い範囲を天然芝(フィールド)での計画としており、敷地内歩行者空間等への温熱環境を緩和		



: 入力欄